

◆教員研修会

1. 開催概要

テーマ	「配慮を必要とする学生への支援の在り方」 今、何故大学でインクルーシブ教育なのか？ ～高校全入時代の影響を受けた大学は今～
開催日時	2018年10月17日(水) 16:30～18:00
講師	学生支援課専門員 石井 孝志氏

2. 開催趣旨

近年、身体に障がいのある学生や発達に偏りのある学生のほか、複雑な人間関係や家庭環境が起因することが原因となり、日々の学修や学生生活に上手く対応できない、専念できない学生が全国各大学で増加傾向にあります。

今回の研修会では、2018年度より高等学校に導入された通級による指導が、高等教育機関にどのような影響を与えるかを知ることによって、高等教育機関でのインクルーシブ教育の必要性について理解を深めます。

3. 当日の様子



4. 参加者の感想

- ・高等学校までの教育内容が変わってきており、それらの高校生が入学してきます。大学の一部教員だけが頑張れば良い時代は終わり、ひとりひとりが気づき、指導のスキルアップが必要と感じました。
- ・”確認の言葉かけ”あらためて重要だと振り返りました。活用したいと思います。

◆教員研修会

1. 開催概要

テーマ	「配慮を必要とする学生への支援の在り方」 必要な支援とは何か ～支援する側、支援を受ける側それぞれの視点から～
開催日時	2018年10月31日(水) 16:30～18:00
講師	学生支援課専門員 石井 孝志氏 ・仲兼久 知枝氏

2. 開催趣旨

10月17日の研修に引き続き、多様化する学生の資質・特性・学力に対応していくために、学生支援の在り方を考える機会とします。

これまでの講師の学生支援の経験の中から、具多的な事例を共有することで、教職員全体の学生支援に関する実践的な能力を向上させることを目的とします。

3. 当日の様子



4. 参加者の感想

- ・さらなる具体例をうかがいたい、1つ1つ対応は異なるのであろうが、そのつみ上げが、より良き対応になると思う。
- ・職員、教員、その他の周囲の人々がチームとなって対応することの重要性を再認識しました。

◆教員研修会

1. 開催概要

テーマ	シラバスの作成方法について
開催日時	2018年12月12日(水) 14:30~15:30
講師	教育推進機構長 西川 利文

2. 開催趣旨

学生の主体的学修が重視され、大学の教育の質保証が強く求められる昨今、学位授与の方針と整合した具体的な到達目標、適切な授業外学修、明確な成績評価基準などを学生等に対して明確に示すための資料として、シラバスの重要性が増しています。改めてシラバスの書き方を確認することによって、学生の主体的な学びにつながるシラバスの作成をめざします。

3. 当日の様子

